

英ネス湖の未確認生物・ネッシー

半世紀ぶり 大搜索へ



英ネス湖の未確認生物ネッシーの「実物大」モデル（Visit Scotland and Kenny Lam・時事）

【ロンドン時事】英北部スコットランドのネス湖で8月下旬、古くから目撃情報が絶えない未確認生物「ネッシー」の大規模搜索が行われます。新技術も駆使した半世紀ぶりの「大捕物」で、長年の謎に迫れるか注目されます。

企画したのは、ネス湖の観光拠点「ネス湖センター」と独立のボランティア調査チーム。8月26、27の両日に行われる搜索は、1972年に別の調査団体が実施して以来の大規模なものになるそうです。

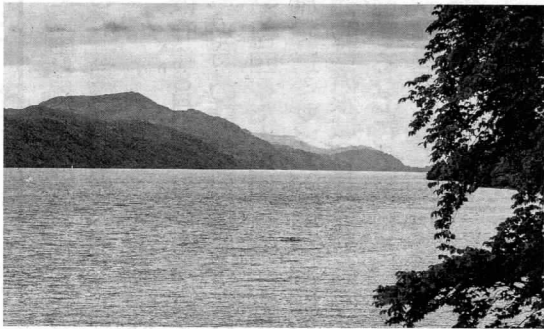
今回の特徴は、新しいテクノロジーを利用すること。湖の上空に赤外線カメラを搭載したドローンを飛ばし、水中の熱画像を撮影するほか、ネッシーの「鳴き声」を探ろうと、水中聴音装置を使って音響信号を検出します。

また、ネス湖センターは新たな「ネッシー・ハンター」を開拓しようと、搜索当日に

新技術駆使して長年の謎に迫る

湖面に不可解な動きがないかを監視するボランティアを募集しています。

ネッシーの目撃記録を27年間分析しているゲリー・キヤンベルさんは「過去の搜索では、説明がつかないような証拠も見つかった。技術の進歩で、今回はもっと成功すると期待している」と新発見へ胸を膨らませています。



英北部スコットランドのネス湖 7月6日（AFP時事）